若者の再出発を支えるネット　　２０２３年度活動計画　　２０２３．６．２９

（１）若者の再出発のサポート　　相談　及び　学習支援

・進路変更について、選択肢の提示、学習方法のアドバイス

・高校卒業認定試験に向けて学習支援、

・高校転学試験および、編入学試験に向けての制度の説明、学習支援、手続き支援

・高校再受験へのアドバイス、学習支援　　・チャレンジスクール受験のための面接・作文指導

・高校等入学後のアフターケアー、学習支援　　・中卒シングルマザーへの学習支援

〇調布学園での学習サポート

①小学６年生サポート（月１回　１０時～１１時）**＊時間変更**

②中高生自習室でのサポート　　（学園より要請があった時に検討）

③個別サポート（必要に応じて）

〇二葉学園での学習サポート（学園から要請があった時に行う）・卒園生支援

（２）相談活動

・メールによる相談

・相談日の実施（年１回）　原則：福祉センター（１４時～１６時）　　６月１７日（土）＊相談実施

（３）学習支援ボランティアのバックアップ　（学生ボランティアメンバーへの支援）

①**謝礼（１時間　１０００円）**　＊交通費という言い方から変更しました。

②その他、学生ボランティアから要望があった活動、学習支援に必要である活動については活動費を支援する。

（４）サポート基金の活用

①「貸付」を基本とする←返済の仕方を学ぶこと、「返済した」という自信が本人の力になる。

②若者にとって必要が生じた時にタイミングを逃さず柔軟に支援できることを特徴とする。

→高卒認定試験・入学準備・転学準備などに関わって柔軟に支援する。

③上限１０万　原則５年で返済とする＊返済の際にかかる振込手数料は支えるネットで負担する。

・返済方法は直接会っての返済が支援になる若者、振り込みで大丈夫な若者と個々に対応。

④「調布市内の若者」を原則とするが今まで関わりがなかった若者にも貸付できるようにする。

１）リーフレット（中３向け）（若者向け）に転学などに関わる費用の貸付制度について掲載

２）社協に知っていていただき、必要な若者を紹介してもらう。

⑤若者への貸付以外の活用（「基金事業費」として予算化）

１）学習支援ボランティア講座など、支援者の育成・学びの費用に活用する。

２）若者支援・保護者支援に必要な資料・教材の購入

３）社会経験としての働く場。機会を生み出し、給料（育成目的）を支払う。

４）休校・長期休暇の給食が提供されない状況での食の保障に活用する。

「調布こども宅食プロジェクト」

★グリーンリーブスコンサートの実施　　5/6 グリーン小ホール

【個人に対する基金活用にあたっての確認】

①基金活用特別委員の承認により、貸付を実行できる。

②一人一人に対して貸付後の返済計画・サポートの担当者を明確にしておく。

⇒☆「基金活用特別委員」で手続きや必要書類を再検討済み

（5）若者の支援に関する研修（支えるネットメンバーの研修）

①外部講師を招いての研修（「子育てネット konokono」と連携）

②支えるネットメンバー同士の学び合い

今年度学習予定　①10/26 ここあの大学生に学ぶ（学習支援で大事にしていること・大学生同士のつながりで）

（ Konokono 公開講座と兼ねる）

②12/21 調布学園卒園生の様子　サポートの実際　（例会の中の情報共有）

（6）例会開催　　偶数月の最終木曜日　１８時半より

例会準備会開催　　奇数月の最終水曜日　　18 時半より　　**＊曜日変更**

★すべての会議について zoom 参加可能とする。

（7）資金の調達

・桜まつりでの菓子・コーヒー販売（２０２３年度・実施できず）

・サポーターズパーティの開催（3月）

（8）ニーズをつなく（イベント）活動

〇若者に向けた多様な学びや体験の場の企画

・「お金と労働の知識」学習会（手続きの仕方・トラブルの対処法）←弁護士・法を学ぶ学生に協力を求める

・女性の人権や性教育の学びとコラボした「お化粧のやり方講座」・地域の力を借りながらの華道体験教室他

〇シングルマザーや困っている保護者に向けた相談や交流の場の企画　　・夜の進路説明会　　他

〇ネットワークを活かしたニーズをつなぐ活動

・おたすけファッションコーディネート（卒業式の式服をネットワークで調達）

・必要な品物　調達コーディネート（養護施設を自立する若者へ）

・住まいのコーディネート（空き家情報の提供・安い家賃で必要とする若者に紹介できるか）

〇 “育てる” 思いで受け入れてくださる『働く場』の開拓と必要な若者につなげる活動

・インターンシップのような働き方ができ、お金がもらえるアルバイト

→さがす・生み出す・支援してくれる事業者と若者をつなげる、などみんなで具体策を検討してゆく。

〇その他、必要に応じて臨機応変な取り組みを行ってゆく。

★グリーンリーブスコンサートの実施　　5/6 グリーン小ホール

→同様の企画（文化に触れる・食品支援・演者含めた応援）を今後も隔年に実施

（9）課題の共有と情報の発信

・活動している中で感じたこと、発見、疑問など語り合う時間を大切にしてゆく。

・例会は「困ったことや心配なこと（個人情報に気をつけながら）を何でも出し合う場」と位置付ける。

・若者と若者を取り巻く実情について積極的に情報を発信してゆく。

（10）宣伝活動

・ホームページの拡充（活動報告の継続）

・リーフレットの発行　　①中学校卒業生向けのもの作成。調布市内の全中学校（公立）に配布

②中学卒業後の若者向けのもの作成。

③一般向けのもの作成。活動内容の紹介・協力者募集

・ニュースレターの発行（日頃の活動・エピソードがわかるもの）・・寄付いただいた方への報告にも
★今年度「おにぎり通信」を発行する。
・学習会・講演会への講師派遣
・地域イベントなどへの参加（さくらまつり・まち活フェスタなど）

（１１）調布市子ども若者事業『ここあ』との連携と協力
①「ここあ」の活動に協力してゆく
②「ここあ」でカバーできない部分に協力してゆく
③高卒認定試験受験サポートの学習支援者の人材バンクづくりに協力してゆく。

（１２）養護施設「調布学園」との連携と協力
卒園してゆく若者の自立を支援する取り組みに積極的に協力してゆく。

（１３）NPO 法人若者就労ネットワークとの連携
ネットワーク例会の会場を提供し、参加・見学させてもらう。

（14）こども・若者の「食の保障」について活動している団体との連携と協力。
①こども食堂（覚證寺）との連携と協力
〇資金協力　　年間３００００円
・支えるネットとして取り組みを検討していた内容を覚證寺さんが始めてくださった経緯がある。
・覚證寺さんには学習支援・相談活動・サポーターズパーティ等ずっと会場提供いただいてきている。
②調布こども宅食プロジェクトの一員として必要な支援を行う。
・必要が生じた時、応援を求められた時は今後も活動に協力してゆく。

（15）調布子ども・若者支援地域ネットワークへの参加

（16）その他の支援機関との連携と協力
〇地域学校協働本部　　〇日本語教室　　〇調布若者サポートステーション

２０２３年度役割分担（案）

実際にはもっと多くの方が役割を担ってくださっていますが、対外的にも確認しておいた方がよいものに限って確認します。実際には、学習支援ごと、イベントごとの役割分担で活動は進めてゆきます。
（敬称略）
〇代表　　大町
〇会計　　ドウマンジュ　**（次年度は交代）**　　監査　　大町
〇学習支援窓口　　西牧
〇調布学園小６学習会　小林・西牧・進藤・浅野
〇ホームページ担当　　藤澤（養老）
〇相談メール担当　　大町・西牧・進藤・富永・浅野
〇基金活用特別委員　　大町・西牧・ドウマンジュ・横山・浅野
〇ボランティア保険担当　村上
〇連絡担当　　浅野